

別紙 2-2 貯蔵設備技術基準表 バルク容器				添付書類及び留意事項	×組合 使用欄
バルク容器 共通技術基準	規則 19 条 1 号イ～ト	附 属 機 器	☐ バルブ認定書 ☐ プロテクター保護	認定書の写し	
	規則 19 条 1 号チ	警 戒 標	☐ 液化石油ガス又は LP ガス ☐ 火気厳禁	左欄の事項を確認 できる写真又は図 面	
	規則 19 条 1 号リ	緊 急 連 絡 先	☐ 別紙のとおり表示する		
	規則 19 条 1 号ル	転 落 、 転 倒 防 止	☐ スカートまたはサドルで基礎に 設置する		
	規則 19 条 1 号ヲ	基 礎	基礎の材質： 地盤面からの高さ： _____ cm		
	規則 19 条 1 号ワ	自動車等車輛が 接触しない措置	措置の方法：		
	規則 19 条 1 号カ	安 全 弁	☐ 安全弁に放出管を設置		
	規則 19 条 5 号	プロテクター 内にガス漏れ 検 知 器 設 置	☐ 有（常時監視システム接続） ☐ 無 無の場合の措置：	有：プロテクター 内部の写真 無：※措置の内容 を示すこと	
(1) 貯蔵能力 1,000 kg 未満の 技術基準	規則 19 条 1 号ヨ	2 m 以 内 に あ る 火 気 を さ え ぎ る 措 置	☐ 2 m 以内に火気無し ☐ 2 m 以内に火気有り 火気をさえぎる措置：	容器設置場所周辺図 収納庫内設置の場 合は、収納庫の構 造図 ※措置の詳細を示 すこと	
		屋 外 設 置	☐ 屋外 ☐ 既製品収納庫 ☐ その他（ ）		
	規則 19 条 1 号タ	容器を 40℃ 以 下に保つ措置	☐ 屋根 ☐ その他（ ）		
(2) 貯蔵能力 1,000 kg 以上 3,000 kg 未満の 技術基準	規則 19 条 2 号イ	保 安 物 件 ま での 距 離	第一種保安物件 _____ m 保安物件の種類：学校・病院・ その他（ ）	容器設置場所周辺図 ※措置の詳細を示 すこと	
			第二種保安物件 _____ m 保安距離が確保できない場合の措置：		
	規則 19 条 2 号ロ	火 気 取 扱 施 設 と の 距 離	☐ 5 m 以内に火気取扱施設無し ☐ 5 m 以内に火気取扱施設有り 流動防止措置：	※措置の詳細を示 すこと	
	規則 19 条 2 号ハ	屋根又は遮へ い 板 の 設 置	☐ 既製品収納庫 ☐ その他（ ）	左 欄 の 事 項 を 確 認 できる写真又は図面	
	規則 19 条 2 号ニ	消 火 設 備	消火器の能力 A-()B-() 消火器の個数 _____ 個		

(備考) 1 ×印の項は記載しないこと。 2 表中の「☐」には該当する項目にレ点で記入すること。

3 共通技術基準及び、貯蔵能力に応じて (1)、(2) のどちらか一方を記載すること。